題名：和文論文の場合は必須／英文論文の場合は不要

要旨（800字以内）：　和文論文の場合は必須／英文論文の場合は不要

キーワード（一般化された用語で5語以内）：　和文論文の場合は必須／英文論文の場合は不要

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

Title:和文論文・英文論文共に必須

Abstract（less than 250 words）: 和文論文・英文論文共に必須、但しＡ演題の場合は任意

Keywords（within 5 words）: 和文論文・英文論文共に必須

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

（以降は、投稿種別により適切な書式のみを使用してください。）

本文

―――　原著　Original Articles　（日本語12,000字以内、英語4,000 words以内） ――――――

はじめに

方法

結果

考察

まとめ

参考文献

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

―――　総説　Reviews　 （日本語12,000字以内、英語4,000 words以内）　――――――――――

　適切な項目に分けること

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

―――　短報　Short Communications、a) 調査・事例報告　Case Reports　（日本語　8,000字以内、英語2,500 words以内）　―――

はじめに

事例

考察

まとめ

参考文献

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

―――　短報　Short Communications　b) 座談会報告　Symposium Reports　 （日本語　6,000字以内、英語2,000 words以内）―――

日時

場所

座談会主催者、発言者名

座談会趣旨

各発言の内容

―――短報　Short Communications　c) ユーザーへのインタビュー報告　Interview Reports

（日本語　4､000字以内、英語1,200 words以内）―――

　　適切な項目に分けること

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

―――報告（分科会など）vision Reports――――――――――――――――――――――――――

　　適切な項目に分けること

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

―――編集者への手紙　Letters to the editor（日本語　800字以内、英語250 words以内）―――

　　適切な項目に分けること

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

―――　学術大会Ａ演題　（題名・著者・所属・要旨・本文・参考文献を含めて8,000字以内。図表は400字（仕上がり1/8ページ）、1,600字（仕上がり1/2）に相当）―――

はじめに

方法

結果

考察

まとめ

利益相反および研究補助金

参考文献

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

――――図表説明文（Figure legends）―――

(sample)

【図1】

・図表のタイトルは日本語25文字以内、英語8words以内、図表の説明は日本語50文字以内、英語10words以内とする。

・図表は合計10枚以内を目安とする。ただし、図表は400字（仕上がり1/8ページ）、1,600字（仕上がり1/2）に相当するので注意すること。

……………………

【図2】

…………………….

【表1】

…………………….

参考文献の表記方法

日本語の場合も英語の場合も、著者は3名以内の記載にしてください。

3名以上にわたる場合は、例として

日本語→森田浩之，酒巻哲夫，山田桃子，他．

英語→Morita H, Sakamaki T, Yamada M et al.

という記述にして下さい。

雑誌に関する表記の順番と区切りは、

・日本語→著者名．タイトル．雑誌名　発行年；版：ページ．

（ピリオド、コロン、スペースは全角。氏と名の間はスペースを入れない。雑誌名と発行年の間にスペースを１個入れること）

・日本語による記載例：

　神谷誠，郡隆之，新井桃子，他．Web データベースシステムを用いた静止画像テレパソロジー．日本遠隔医療学会雑誌　2006；2(1)：27-32

・ 英語→Author. Title. Name of the journal Year; Edition: Page.

（ピリオド、コロン、スペースは半角。雑誌名と発行年の間に半角スペースを１個入れること）

・英語による記載例：

Klaus K, Gian K, Dominik R et al. New developments in digital pathology: From telepathology

to virtual pathology laboratory. Stud Health Technol Inform 2004; 105: 61-9.

書籍に関する表記と区切りの順番は、

・日本語→著者名．書籍名，版．出版都市：出版社，発行年．

（ピリオド、コロン、スペースは全角）

・日本語による記載例：

　大腸癌研究会編．大腸癌取り扱い規約，第7版．東京：金原出版，2006．

・英語→Author. Title, Edition. City, Nation: Name of the press, Year; Page.

（ピリオド、コロン、スペースは半角）

・英語による記載例：

William D. Travis, Elizabeth Brambilla, Curtis C. Harris et al. Tumors of the Lung, Pleura,

Thymus and Heart. Lyon, France: IARC Press, 2006.

ホームページに関する表記と区切りの順番は、

・日本語→著者名．所属機関名．題名．（引用した年月日）．URL: http://www.-----------.

・日本語による記載例：

・神谷誠．群馬大学医学系研究科病態病理学．Web を利用した遠隔病理診断支援システムの開発 お よ

び そ の 有 効 性 と 限 界．（2007 年 1 月 4 日 引 用 ）．URL: http://www.medical-e.net/

telemedicine/telepath/93path.pdf

・英 語 → Author. Institution. Title. [homepage on the internet]. (Cited date). Available

from URL: http://www.-----------.

・英語による記載例：

Larry An. The Real U: A Web-based Intervention to Reduce College Smoking. [homepage on the

internet]. (Cited 27 December 2006). Available from URL:

http://www.mednetcongress.org/ocs/viewabstract.

学術大会論文集等：大会論文集（大会抄録集）に関する表記は、

・日本語→著者名．タイトル．学会名　第○回○○大会論文集　発行年：ページ．

　　　　　（ピリオド、コロン、スペースは全角。氏と名の間はスペースを入れない。学会名、論文集と発行

年の間にスペースを１個入れること）

・日本語による記載例：

　松崎竜児，山本乃之，逢坂公一．病院間データ連動を活用した在宅透析管理ネットワークシステム

の有用性．日本医療情報学会　第 31 回医療情報学連合大会論文集　2011：775―778．

大学紀要：大学紀要（学校紀要）に関する表記は、

・日本語→著者名．タイトル．○○大学○○学部紀要　発行年；第○巻第○号（：ページ）．

　（ピリオド、コロン、スペースは全角。氏と名の間はスペースを入れない。紀要と発行年の間にス

ペースを１個入れること）

・日本語による記載例：

　小川晃子，狩野徹，佐々木淳，他．ICT を活用した高齢者生活支援型コミュニティーづくりプロジ

ェクト実践報告．岩手県立大学社会学部紀要　2011；13：65―69．

行政通知等：省庁（都道府県）の通知類に関する表記は、

・日本語→○○省○○局（△△県△△課）．タイトル．発行年；文書番号（：ページ）．

　　　　（ピリオド、コロン、スペースは全角）

・日本語による記載例：

　厚生省健康政策局．情報通信機器を用いた診療（いわゆる「遠隔診療」）について．1997 年（2011

年一部改正）；健政発第 1075 号．

法令：法令類に関する表記は、

・日本語→法令名．発行年；法律番号：関係条項番号．

　　　　（ピリオド、コロン、スペースは全角）

・日本語による記載例：

　個人情報の保護に関する法律．2003 年；第 57 号：第 3 章第 2 節第 8 条．